

2020年5月26日

キヤノンメディカルシステムズとコニカミノルタ 産婦人科向け超音波診断装置の 販売事業で協業

キヤノンメディカルシステムズ株式会社（本社：栃木県大田原市、社長：瀧口登志夫氏 以下、キヤノンメディカル）とコニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名昌衛氏 以下、コニカミノルタ）は、国内産婦人科向け超音波診断装置の販売事業において協業することに致った。

【協業の内容】

キヤノンメディカルとコニカミノルタの国内販売子会社であるコニカミノルタジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：大須賀健氏 以下、コニカミノルタジャパン）の間で販売契約を締結し、キヤノンメディカル製の超音波診断装置「Aplio i(アプリオ アイ)シリーズ Women's Health モデル」「Aplio a / Verifia(アプリオ エー/ベリフィア)Women's Health モデル」「Xario(エクサリオ) 100 S-Edition」の3機種を、コニカミノルタジャパンの取り扱い製品とした。なお、これらの製品については、国内販売をコニカミノルタジャパンが、保守や故障対応などのカスタマーサービスをキヤノンメディカルが行う。

【協業の背景】

コニカミノルタのコンパクトで高画質な超音波診断装置は、整形外科領域および麻酔科領域において高い評価を受けている。2019年には、婦人科検診や妊婦健診、胎児の発育管理、不妊治療などに利用される経膈用の超音波診断装置を投入し、産婦人科領域へ本格参入した。以来、国内経膈用ではトップクラスのシェアを獲得しており、今後は経腹用もラインアップに加えることで、国内産婦人科における存在感を高めていく。

キヤノンメディカルの超音波診断装置は、幅広いラインアップと独自の高精細画像技術に強みを有し、グローバルに事業を展開している。国内においては大学病院や検査室を中心とした内科や循環器科、乳腺領域に高いシェアを持ち、近年、産婦人科領域にも注力している。産婦人科領域で強い販売力を持つコニカミノルタと、ハイエンド超音波装置で高い技術力を持つキヤノンメディカルとが協業することで、お客様には、安心かつ満足度の高い診療サポートができるものと考えている。

今後も両社は、お客様への提供価値をより一層向上するために、お互いのテクノロジーと資産を活用しながら自社の強みをさらに強化し、協業のシナジーを高めていく。

以上